

平成27年度 全国地域づくり 人財塾

主催：総務省、全国市町村国際文化研修所

日程：平成27年5月12日(火)～5月14日(木)(2泊3日)

会場：全国市町村国際文化研修所(JIAM) 滋賀県大津市
対象：市区町村等職員及び地域づくりに取り組むNPO関係者等で、全日程を受講できる者
(途中退寮や一時帰庁はできませんのでご注意ください。)

定員：60人(募集人数を大幅に超えた場合は、先着順とさせていただきます。)

宿泊：研修所宿泊棟(宿泊型研修)(外泊はできません。)

経費：10,500円(左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。)

申込期限：平成27年4月23日(木)まで

申込方法：JIAMホームページ内「Web申込み」からお申し込みください。

(「Web申込み」が難しい場合は、FAXでも受け付けています)

※経費納入方法等につきましては、別途決定通知書によりお知らせいたします。

受講の可否については、開講日までに通知をお送りします。

研修受講にあたって、事前アンケートに取り組んでいただきます。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

開催のご案内

地域活性化においては、様々な知識・経験を持った人が、その知識・経験とアイデアを活かしながら、それぞれ活動に取り組み、地域で様々な活動が展開されている状況こそが大切です。そのような状況を生み出すために必要となる、地域づくり活動を自らの手で企画し実践できる人材、すなわち「地域づくり人」を育成するため、本講座を開催いたします。地域づくりに熱い志を持つ皆様のご参加をお待ちしております！

地域づくりに実績がある豪華な講師陣、そして熱い志を持つ全国からの参加者と熱い議論をしてみませんか？

【研修内容について】

総務省 地域力創造グループ 人材力活性化・連携交流室

TEL.03-5253-5394

問い合わせ先

全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎2丁目13番1号

[ホームページ] <http://www.jiam.jp>

TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

平成27年 5月12日(火)

11:00- 受付
11:30- 昼食
12:45- 開講・オリエンテーション

13:00-13:15 【講義1:導入】

「人材力の活性化について」

総務省 人材力活性化・連携交流室長 野竹 司郎 氏

「地域の人材力」向上の必要性と総務省のこれまでの取り組み、参加者への期待についてお話しします。

13:15-14:10 【講義2:実践事例】

「NPOフュージョン長池の実践～多様で美しい共生の地域を創造する人財とは～」

NPOフュージョン長池 理事長 富永 一夫 氏

「NPOフュージョン長池」の理事長。東京多摩ニュータウンに暮らす普通のサラリーマンでしたが、ある日突然会社を辞めて地域に戻り、人と人とのつながりが希薄なベッドタウンで少し昔の日本の町ならどこにでもあったような暖かい人間関係を取り戻そうと一念発起。2012年には、緑の都市賞(国土交通大臣賞)を受賞。

“都市郊外”の新興住宅地と既存の住民との間で地域づくりの活動を実践されてきた講師の経験をもとに、どのような点に留意しながら地域活動を展開すべきか、その要諦を講義いただきます。

14:25-15:35 【講義3:実践事例】

「地域再生～行政に頼らない感動の地域づくり～」

柳谷自治公民館長 豊重 哲郎 氏

柳谷は、鹿児島県肝属平野に位置し、集落ぐるみで豊かな生き方を目指す小さな「むら」です。土着菌を活用した環境保全型農業や生きた福祉活動が高く評価され、第8回日本計画行政学会「計画賞」の最優秀作品受賞。また、「むらづくり日本一」も受賞。平成19年には「あしたのむら・まちづくり活動賞」として内閣総理大臣賞受賞。今年1月には、やねだんに石破地方創生担当大臣が来訪され、感動の地域づくりを絶賛されました。

全住民参加型の感動の地域づくりを実践している豊重自治公民館長のご経験をもとに、行政に頼らない自立した地域づくりのポイントと、地域人材の力を引き出し、活動に巻き込むためのポイントを講義いただきます。

15:50-17:00 【講義4:実践事例】

「「農山村」再生の実践と課題」

明治大学農学部教授 小田切 徳美 氏

神奈川県生まれ。東京大学大学院博士課程単位取得退学。農学博士。高崎経済大学助教授、東京大学助教授を経て、平成18年より現職。明治大学農山村政策研究所代表。専攻は農政学・農村政策論、地域ガバナンス論。日本学術会議会員、過疎問題懇談会委員(総務省)、ふるさとづくり有識者会議座長(内閣官房)、活力ある農山漁村づくり検討会座長(農林水産省)、国土審議会委員(国交省)等農村問題の専門家として多くの要職を兼任されています。著書には、『農山村は消滅しない』(単著、岩波書店)、『農山村再生に挑む』(編著、同)、『地域再生のフロンティア』(編著、農文協)など多数あります。

17:00-17:30 【グループ・トーク】 本日の研修の振り返り

課外 18:00 【交流会】 夕食を兼ねて、共に学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

平成27年 5月13日(水)

9:00-9:25 【グループ・トーク】 全体での共有

9:25-10:35 【講義5:実践事例】

「地域に飛び出し翻訳こんにやく家になろう！」

一般財団法人 地域活性化センター 総務企画部クリエイティブ事業室室長 前神 有里 氏

愛媛県庁から2014年4月に地域活性化センターへ派遣。公務で培ったスキルを地域に生かし地域での学びを公務に生かす「地域に飛び出す公務員」として活動されています。ライフワークは虐待防止・権利擁護と「食」で地域づくり・人づくり。「虐待防止は地域づくり。生きづらさを抱えた人を放置しては、真の地域づくりにはならない。」を信念とし、地域を構成するあらゆる人が希望を持って生きることができる地域づくりを実践されています。特技は、胃袋ネットワークと翻訳こんにやく。

10:50-12:00 【講義6:実践事例】

「ただ話す、ではなく、伝わるように話す ～「心に響き、目にも焼きつき、耳にも残る」話し方の基礎を学ぶ～」

森ゼミ代表 森 吉弘 氏

1967年生まれ。愛知県出身。慶應義塾大学経済学部卒。元NHKアナウンサー。現在、帝京大学総合教育センター准教授はじめ、3つの大学で客員教授などを務めています。また(株)morisemiの代表でもあります。大学在学中に立ち上げた学舎『森ゼミ』が発展し、現在の形に。今年で創設23年目を迎え、400人を越えるOBOGが国内外で活躍中です。2008年、森ゼミの活動に専念するためにNHKを退局し、現在、国内25の大学で、『森ゼミ』で実践してきたカリキュラムを活かし、「社会で活躍できる」学生創りに、講師7人で力を注いでいます。

森ゼミの活動は、国内にとどまらず、インド、中国、オーストラリア、ベトナム、インドネシアなどグローバルに展開を続けています。さらに社会人の教育にも携わり、自治体職員やビジネスマンへの研修も「コミュニケーション」をキーワードに展開しています。

著書多数、近著は帝京大学ラグビー部の岩出監督との共著『負けない作法』。問い合わせ moridon@morisemi.com森まで。

13:00-17:00 【講師との直接対話】

参加者からの質問に講師が応える形式で直接対話を行います。

【1R】(13:00～14:10)

■進め方…講師ごとに、参加者を事前に振り分け、参加者からの質問に講師が応える形式で対話を行う。

【2R】(14:25～15:35)

■進め方…講師を代えて、1Rと同様の方式で進める。

【3R】(15:50～17:00)

■進め方…講師を代えて、1R、2Rと同様の方式で進める。

17:00-17:30 【グループ・トーク】

本日の研修の振り返り

課外 上記の他、19:00-20:10に、1Rから3Rと同様に講師との直接対話が行える時間を設けています。

平成27年 5月14日(木)

9:00-9:25 【グループ・トーク】 全体での共有

9:00-9:25 【事例報告】

・千葉県山武市
・岐阜県養老町
・兵庫県三田市

さんぶの森図書館
NPO法人ヨロスト
地域支援課

豊山希巳江 氏
竹内 蘭 氏
青野 敬 氏

「全国地域づくり人材塾」の受講生から、人材塾受講後の現在の地域での取組についての報告を行っていただきます。

10:50-12:00 【講義7:実践事例】

「地域づくりのマネジメント ～効果的なプラットフォームの作り方～」

慶應義塾大学総合政策学部 教授 飯盛 義徳 氏

地域づくりの第一人者である慶應義塾大学飯盛義徳教授は、実践を通じて地域の元気の処方箋を探究されています。そのご経験から、理論的背景、先進事例分析に基づき、人々の相互作用によって新しい活動や価値が生まれるための方策について、地域づくりにおける人材力の観点から講義いただきます。

13:00-14:10 【成果発表と振り返り】

3日間の研修での体験を踏まえて、「自分が現場で取り組むべき具体的な行動」をまとめ、行動宣言を行います。

研修所までの交通のご案内

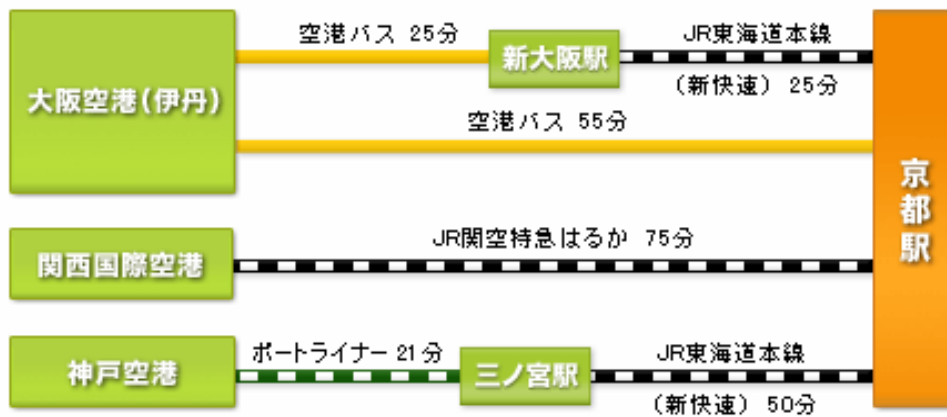
●京都駅から研修所までの交通

京都駅からJR湖西線14分、唐崎駅から琵琶湖方面に徒歩3分



※琵琶湖線（野洲・米原・長浜方面）とお乗り間違えないようお気を付けください。
※唐崎駅には新快速は停まりませんのでご注意ください。

●各空港から研修所までの交通



研修所の位置（詳細）





FAXでのお申込みは矢印の方向に

平成27年度 受講申込書

研修名 及び時期	全国地域づくり人財塾				
	平成27年5月12日(火)～5月14日(木)(2日間)				
市区町村 コード番号					※全国市町村要覧に記載のコードを6桁で 記入してください。 (例: 12345-6の場合、123456と記入)
団体名		都 道 府 県			市 区 町 村 組 合
所在地 (受講決定 通知送付先)			申込手続の 担当課名		
			担当者名		
			電話番号		
			FAX番号		
			e-mail アドレス		
受講者	所属				
	役職名				
	職階 (○印を記入)	1部長級 2課長級 3課長補佐級 4係長級 5主査級 6主任・主事・技師等級 ※自治体職員の方のみ記入してください。 ※不明の場合は、「6 主任・主事・技師等級」を選択してください。			
	ふりがな	-----			
	氏名				
	年齢 (研修開始日 現在)	歳	性別	男 ・ 女	
上記のとおり、研修の受講を申し込みます。					
平成 年 月 日					
団体の長の職 氏名					
全国市町村国際文化研修所学長 あて					
公印省略可					

この申込書でご提供いただきました個人情報は、今回の研修実施のために使用します。

なお、個人情報を集計して個人を特定できない統計資料を作成するために利用する場合があります。